



建築物総合環境計画概要書 新築

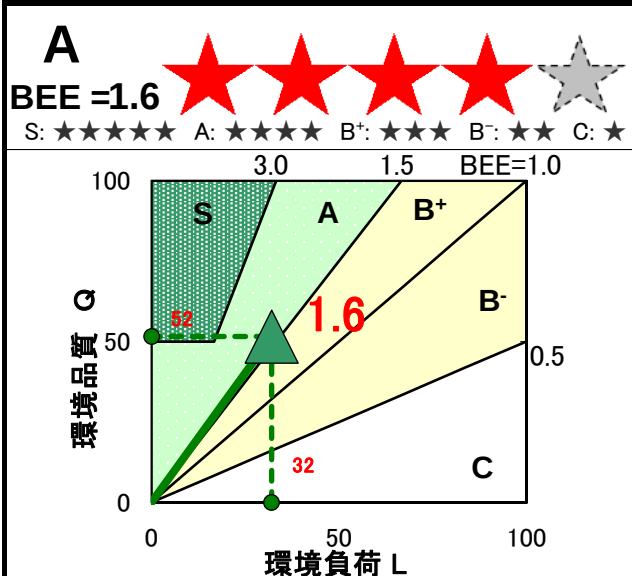
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

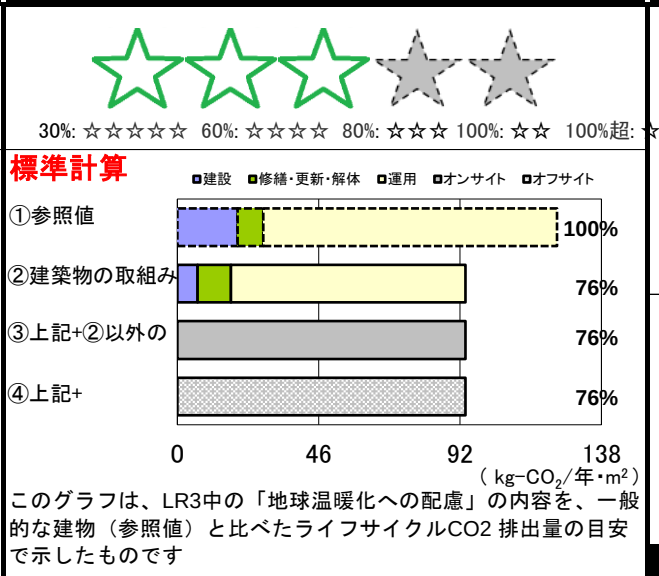
建物名称	(仮称)大阪市北区天満一丁目計画 新築工事		
建設地	北区天満1丁目		
建築用途	集合住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,712.80	m ²	
建築面積	820.08	m ²	
延床面積	18,907.41	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上30階
完了年(予定)	2026年12月		

1-2 外観

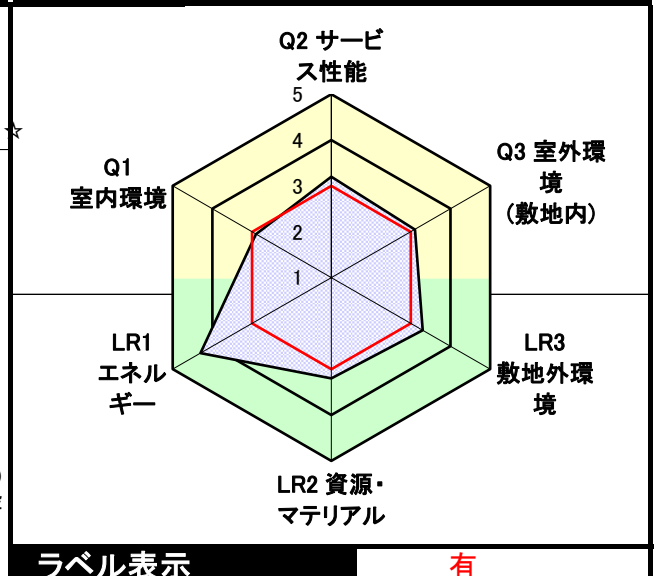
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



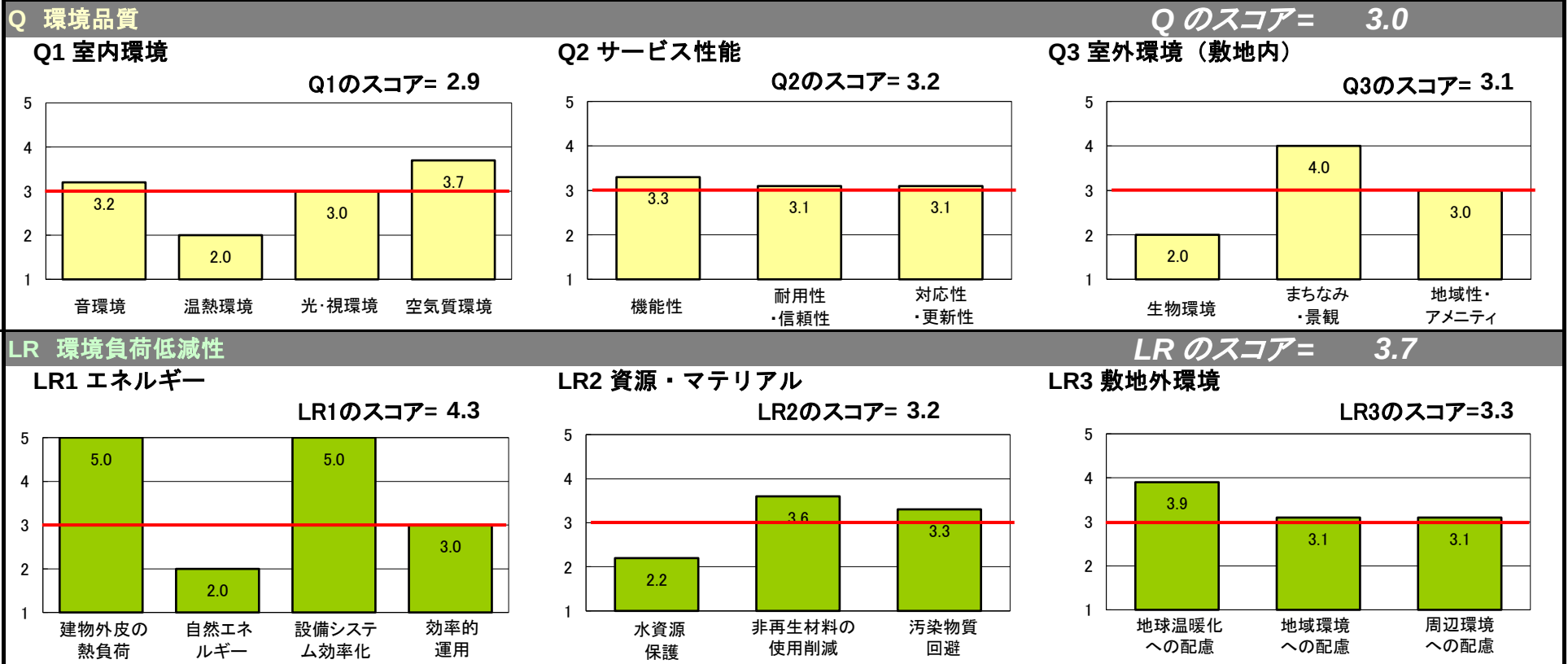
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 建物配置は道路境界線より後退させる事で圧迫感を和らげ、後退部分には総合設計制度における歩道状公開空地(一部歩道整備)・広場状公開空地を確保し、周辺環境へ寄与する計画としている。また、強化外皮基準を満たす外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境 ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆建材の採用や、大きな開放可能な窓により、空気質環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 各住戸に高速インターネットを引き込み、機能性を向上させた。
Q3 室外環境(敷地内) 隣接する公園や河川敷の緑地を考慮した敷地内の緑化計画とすることで、周辺の景観との調和を図った。	
LR1 エネルギー Low-E複層ガラスの採用など外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明や高効率給湯器など設備システムの効率化への取り組みをし、ZEH-M Orientedを満たす省エネルギーに配慮した建物としている。	LR2 資源・マテリアル オゾン破壊係数と地球温暖化係数の低い断熱材の採用により汚染物質含有材料の使用の回避に努めた。
	LR3 敷地外環境 躯体の長寿命化や設備システムの高効率化により、ライフサイクルCO ₂ を抑制し地球温暖化への配慮をしている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	気象台既存データを用いて風向風速卓越風などの風環境を把握している。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5の水準とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4を超える（相当）	非住宅部分[BEI][BEIm] -
	建物全体[BEI][BEIm] 0.78	住宅部分[BEI] 0.78
一次エネルギー消費量	0.78	非住宅部分[BEI][BEIm] -